

## 今日のキーワード 「参議院選挙」の結果の読み方（日本）

7月10日の第24回参議院選挙は、自民党・公明党の与党が勝利しました。有権者は「アベノミクス」の推進を選択したと言えます。改憲勢力が議席を伸ばしましたが、憲法改正には相当な調整が必要となります。まずは、政権の安定化を背景に、安倍政権が、経済の立て直しを本格的に実施することに期待が集まっています。

### ポイント1 政権が一段と安定化 改憲勢力で3分の2議席を獲得

- 今回の選挙では、議員定数242議席のうち121議席が改選となりました。結果は、自民党が追加公認を含めて56議席を獲得し、公明党が14議席を獲得したことで、両党合わせて70議席となりました。非改選と合わせると146議席と過半数を大きく上回り、政権が一段と安定化されます。また、改憲4党（自民党、公明党、おおさか維新の会、日本のこころを大切にしたい党）に改憲に前向きな無所属議員を加えると、議席数が「憲法」改正の発議が可能となる3分の2を超えました。

### ポイント2 市場は内閣改造や補正予算に注目 憲法改正には相当な調整が必要

#### 今後の日程

2016年	予定
7月31日	東京都知事選挙
8～9月	内閣改造、自民党人事
9月～	臨時国会

(出所) 各種報道を基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 政権安定化で本格的な経済立て直しに期待

- 今回の参議院選挙の焦点は「アベノミクス」でした。有権者は、アベノミクスの推進による成長と分配の好循環を選択しました。今後は、8～9月にかけて内閣の改造や、自民党内での人事が行われ、安倍政権が経済の立て直しや改憲に対してどのような姿勢で臨むかを確認する必要があります。
- 政権がさらに安定化することで、リフレ政策の継続、成長戦略の促進、大規模経済対策の発動など、安倍政権がこれまで以上に経済の立て直しに積極的に取り組むことが期待されます。

**ここもチェック!** 2016年7月 1日 日銀短観と市場動向 大企業製造業の景況感はやや横ばい、追加政策に期待  
2016年6月30日 日本の株式市場 日本株式市場を巡る環境を整理

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。